

夢におかって～笑顔の花を咲かせよう！

山根草

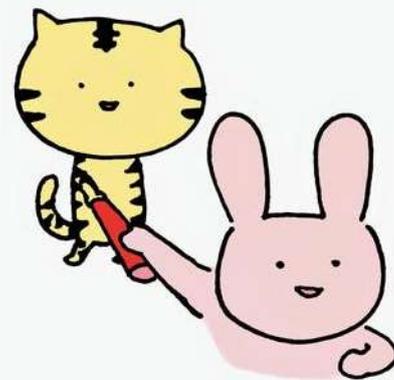
柴田町立船迫小学校
学校だより 12号
令和4年12月23日発行
柴田町西船迫3-1-3
Tel 55-5394

2022年から2023年へ 1年の振り返りを大切に！

あと1週間で2022年が終わります。2022年はどのような1年だったでしょうか。第6波、第7波、第8波と繰り返し襲いかかってくる新型コロナウイルスにより、本校でも、罹患した児童がおりましたが、重傷化したという報告がなかったことが幸いでした。改めて感染力の強さに驚いています。引き続き換気や手指消毒、マスクの着用等を指導してまいりますので、ご家庭におきましても感染拡大防止に努めていただきますようよろしくお願いいたします。

また昨年と比べ授業では、ペア学習を授業に取り入れたり、マスクを付けたままですが、教室の窓を開け半数の児童に合唱指導を行うなどできる学習が少しずつ増えてきました。活動を通して、児童の楽しそうな表情を見ることができとてもうれしいです。さらに、まだまだ制約はあるものの、音楽発表会や運動会など学校行事も無事に行うことができました。これも学校だけでなく、普段からマスクの着用や三密の回避、手指消毒等を児童に声掛けていただいた保護者の皆様のお力添えがあったからこそです。本当にありがとうございました。

しかし一方で、児童の授業中の大声での私語や立ち歩きもあり、保護者の皆様にご協力をいただいたこともありました。引き続き、けじめある学校生活を送るよう指導をしていきますので、ご協力をお願いいたします。2023年は卯年です。「卯」は穏やかなうさぎの様子から安全、温和の意味があります。また、うさぎのように跳ね上がるという意味があり、卯年は何かを開始するのに縁起がよく、希望があふれ、景気回復、好転するよい年になると言われています。ぜひ2023年を皆様にとって飛躍の年となりますように、今年1年間の振り返りを大切にしてくださいと思います。



授業参観&教育講演会&個人面談

ご参加いただきありがとうございました。

11月29日に授業参観を行いました。2校時に奇数学年、3校時に偶数学年と学年で分散しての開催となり、保護者の皆様に不便をおかけしましたが、たくさんの保護者の皆様に足を運んでいただきました。ありがとうございました。私もたくさんの教室を回らせていただきましたが、熱心に児童が学習に取り組んでいる様子をご覧いただけたものと考えます。また授業参観後には、柴田町子ども家庭課主催の教育講演会も行われました。仙台大学教授の千葉 喜久也先生から、体罰等によらない子育てのポイントを教えてくださいました。

さらに、12月1日から7日まで個人面談が行われ、春の個人面談で提案いただいた「我が家の重点目標&ルール」を中心にお話をさせていただきました。ぜひ児童の良いところを褒めるとともに、気になることがあった場合にはしっかりと児童とお話をさせていただきたいと考えます。これからもよろしくお願いいたします。



各学年より

1年生 初めての書きぞめ練習



書きぞめの練習を行いました。初めての書きぞめということもあり慎重に一文字一文字書いたり、あっという間に書き上げたりと様々でした。1月の校内書きぞめ展まで、作品づくりが続きます。休み明けの本番で力を発揮できるように、冬休みには根気強く練習に取り組んでほしいです。

2年生 図書館見学



11月1日。秋晴れのもと、柴田町図書館へ徒歩で行きました。町図書館では、本の貸し出し方法を教わったり、本を読んでいただいたりしました。本からはたくさん学ぶことができるので、ぜひ町図書館を利用してほしいです。また行き帰りには、横断歩道の渡り方や路側帯の歩き方などを確認できました。

3年生 国際交流会



11月8日。宮城県国際化協会から5人の先生にお越しいただいて、中国・イタリア・エジプトの国の様子や、暮らし、小学生の勉強の様子など様々なことを教わりました。ゲームをしたり、中国の小学生が授業前に行う踊りを踊ったり、楽しく学習しました。児童は意欲的に質問をしていて立派でした。

4年生 船迫地区の歴史発見



11月8日。「船迫地区の歴史について知ろう」というテーマで、しばたっこ応援団の方々とともに、大光院や熊野神社、明治天皇休憩所、兎田瓦窯跡など、この地区の歴史的に貴重な場所を見学しました。兎田瓦窯跡では、瓦のかけらを見つけ、目を輝かしている児童もおり、とても貴重な時間となりました。

5年生 ミシンを使い作品づくり



11月後半に、ミシンボランティアの方々に来ていただき、ミシンの使い方を教えていただきました。小学校では、5年生になって初めて家庭科の学習をします。1学期には、手縫いでティッシュケースを作成し、今回はミシンを使ってナップザックを作成しました。とても上手にできました。

6年生 小中連携合同授業



11月22日に6年生が船迫中学校へ行き、小中連携合同授業として外国語の授業を受けました。中学2年生のお兄さん、お姉さん方と柴田町の魅力について、英語を使って伝え合いました。初対面同士のペアも多かったのですが、果敢に英語を使っての会話にチャレンジをする児童もおり、とても感心しました。

交通指導隊の皆さんより、通学路についての注意

柴田町まちづくり政策課と、交通指導隊、スクールガードリーダーの皆さんと、小学生の登下校の状況や通学路の危険箇所について情報交換をしました。毎日、加藤動物病院の前に立っていただいている交通指導隊の方から、新生町方面から来る児童(しまむらとタイヤ倶楽部の横断歩道を渡る児童)が通るべき安全な横断歩道についてお話をいただきました。右の図の①～④は横断歩道を表しています。本来歩行者は右側通行なので、②③④の横断歩道を渡り、点線側の歩道を通るべきです。しかし、点線側の歩道を通ると、4号線に向かう車が、北から南に向けて児童の通学路の方向に進んで来ます。その危険を考えると、④～①の横断歩道までは実線側の歩道を通り、①の横断歩道を通った方が安全です。但し点線側(この道路より北側に)に住んでいる児童は、無理をして実線側を通る必要はないということです。最近交通量が増えている道路だけに、ご家庭で話題にあげていただきたいです。よろしくお願いいたします。

